

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	人間健康特講Ⅲ		
担当者(Instructors)	石渡 靖之	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「チームマネジメントⅠ」 チームマネジメントの重要な要素である『人』をフォーカスし、「人がチームに関わってチームをどのように作っていくか」ということを中心に学ぶ授業である。この授業の中で、スポーツ指導者に必要な基礎的知識及び理論を修得する。また科学的及び理論的な視点で選手指導やチームづくりを行う能力や態度を養い、将来のスポーツ指導者として現場で必要となる力を身につける。さらにスポーツ指導の場面に限らず、人と関わる社会生活の様々な場面で役立つ授業となることを目指す。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	Googleclassroomを通じて授業資料、授業小プリント、授業課題を提示し、メール、chatまたはmeetを使って質問等に答えながら、毎回の授業毎に授業小プリント、及び授業課題を提出してもらおう形式で授業を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション 授業事前課題(1)	本授業の目的、到達目標の確認、及び学習評価についての説明 個人目標の設定について	<input type="checkbox"/>
第2回	授業事前課題(2)	指導者に必要な資質・能力について(第4回授業テーマの一部)	<input type="checkbox"/>
第3回	指導者の言葉 スポーツの集団と組織(1)	指導者の発する言葉について チーム・クラブの捉え方、組織(チーム)の定義について	<input type="checkbox"/>
第4回	スポーツの集団と組織(2)	指導者(リーダー)に必要な資質・能力について考える。 指導者のタイプとチーム状況における指導者のチームへの関わり方について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	チームの基礎作りのための活動について	チームを機能させるためには、チーム内の人間関係を円滑にすることが重要であるが、そのために指導者(リーダー)はどのようなことを行う必要があるか。	<input type="checkbox"/>
第6回	レベルアップに必要な諸要素	チーム目標の設定について チームのレベルアップのために指導者が行うべきことについて	<input type="checkbox"/>
第7回	チーム力向上のためのチームマネジメント(1)	スポーツ指導の評価について チームマネジメントを効果的に進めていく上でのキーパーソンとなるのは、ナンバー2とも言える存在であるが、どのような人材を登用し、どのような役割を担ってもらうのが望ましいかなどについて学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第8回	チーム力向上のためのチームマネジメント(2)	チーム力の向上に向けて、チーム内のコミュニケーションを活性化するための方策及びチームの集団としての生産性を向上させるために必要なことは何かを考える。	<input type="checkbox"/>
第9回	トレーニングのマネジメント(1)	チームの競技力向上のためのトレーニングをどのように構築するかについて学ぶ。 競技力向上の重要な要素である情報のマネジメントについて学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第10回	トレーニングのマネジメント(2)	トレーニング効果を上げるためのタイムマネジメントについて学ぶ。 効果的なトレーニングを行うために指導者どのような点に留意して行動すべきか。	<input type="checkbox"/>
第11回	チームマネジメントの実際	チーム内のモチベーションを維持・向上させるための指導者(リーダー)のとるべき方策について考える。 チーム活動を活性化し、他チームとの差別化を図るために指導者(リーダー)が行うべきことについて学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第12回	ヒトのマネジメントについて	指導者(リーダー)が行うヒトのマネジメントとは何か。 チーム内外のヒトに関するマネジメントについて学ぶ。	<input type="checkbox"/>

第13回	大会期のチームマネジメント	大会前のチームマネジメントのポイントについて学ぶ。(大会前のマネジメントの成否が結果を左右する。) 大会期間中のチームマネジメントのポイントについて学ぶ。勝利の方程式とも言える好循環の流れをチームに浸透させるための指導者の活動について。	<input type="checkbox"/>
第14回	ジュニアユース年代の指導について	ジュニアユース(中学生)年代の選手指導を行う上での留意点やチームづくりを行う上でのポイントなどについて学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第15回	授業のまとめ	授業内容の総括 チームを任される指導者の心構えについて 授業を総括して望ましい指導者像について考える。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

・事前学習については、次回予告で示す内容について、指示を出した事項を事前に調べ学習を行い、授業時に課題や小レポートを通じて報告できるようにする。なお、学習内容等に応じて事前提出課題とした場合、提出を義務づけ評価に加えるものとする。・事後学習として、毎回の授業で学習した内容に関するレポート課題を課す。提出レポートの内容・形式等については授業時に説明する。この提出課題については、評価に加える。(事前・事後学習で毎回4時間は要する。) 事後学習課題は、提出を指示した日時とする。(提出期限は遵守)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各テーマ及び事前学習での調べ学習の内容等に関する小プリントについては、コメントを加えて解説を行う。また、提出を求めた事前学習課題、毎授業で作成し、提出したレポート課題は、採点等の後、返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019人間健康DP1	・スポーツ指導者として必要な知識・技能を駆使して、状況に応じた的確な分析を行うことができる。 ・授業課題への取り組みなどを通じて、思考力・判断力・表現力の育成を目指すとともに、選手や生徒に対する的確な助言指導ができる。
主体性	◆ 2019人間健康DP3	・様々な状況下において、チームをより良い方向に導くための問題解決能力及び多様な価値観を認め、指導者としての望ましい態度での的確な対応が取れる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験(in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	100%	0%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・平常評価は、提出の指示を出した事前学習課題2課題、各授業毎に提出を課す授業課題13課題、また13回の毎回の授業資料等に基づき記入した授業内小プリントの評価によって100点分とする。(個々の課題や小プリントの評価はオリエンテーション資料を参照)

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて資料を配付する。(インターネット資料など)	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	原田宗彦・小笠原悦子(編著):「スポーツマネジメント」:大修館書店	
2	小倉広(著):「あたりまえだけどなかなか作れないチームのルール」:明日香出版社	

3	岩崎夏海（著）：「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」 ：ダイヤモンド社	
4	マイケル・アブラチョフ（著）：「アメリカ海軍に学ぶ『最強のチーム』のつくり方」：三笠書房	
5	大儀見浩介（著）「勝つ人のメンタル」：日本経済新聞社	